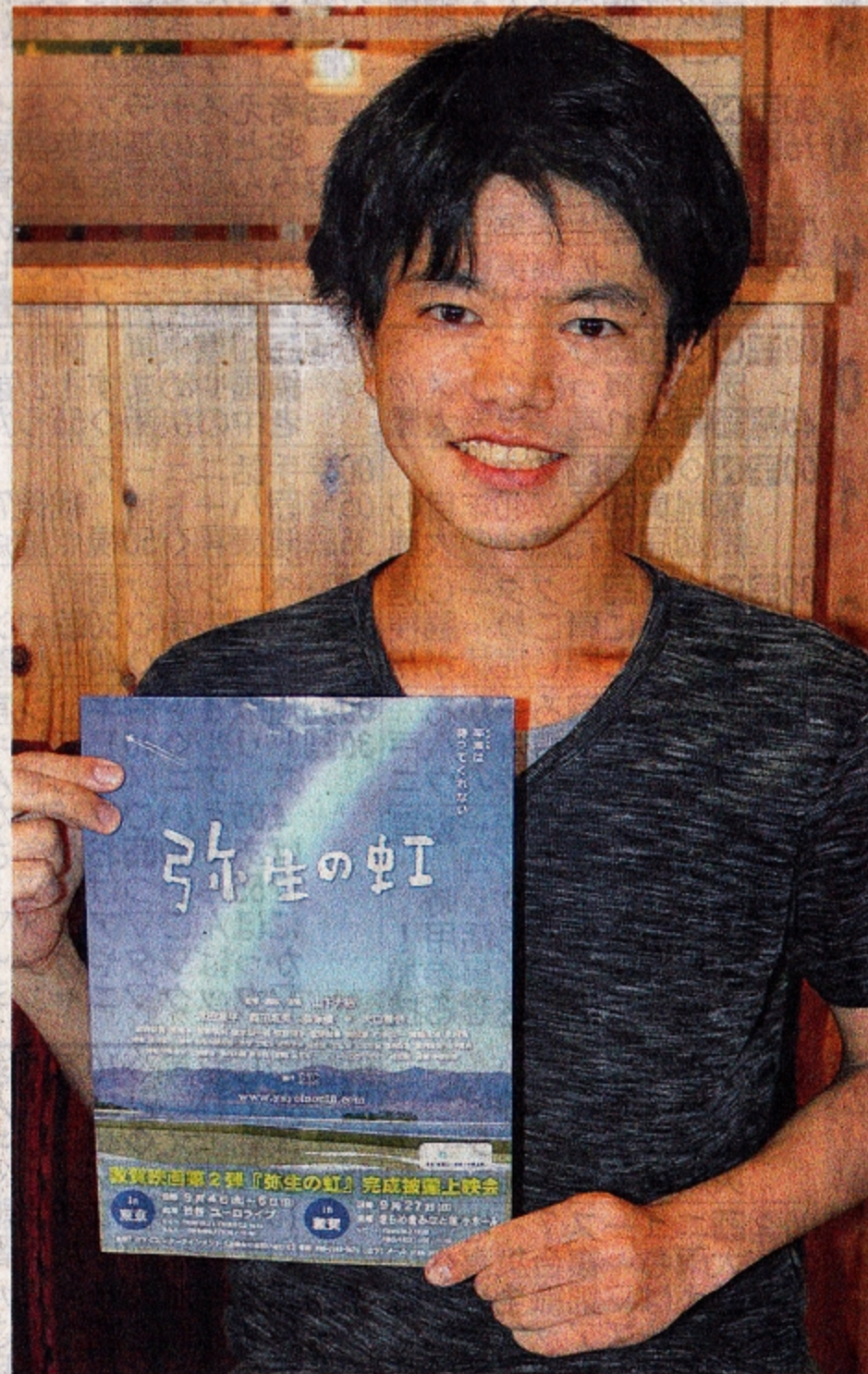


敦賀市出身の映画監督、山下大裕さん(23)＝東京都世田谷区＝の自主製作第2弾となる映画「弥生の虹」の完成披露上映会が27日、敦賀市内のきらめきみなと館で開かれる。全編敦賀でロケを敢行した労作で、山下さんは「映画で地元を盛り上げたい」と話す。
(米田怜央)



全編敦賀ロケ 会心の第2作

弥生の虹は、閉校を控えた高校を舞台に、生徒会長らの卒業までの日々を描いた。前作「SNOWGIRL」では、敦賀と東京を舞台としたが「まだまだ撮りたい場所がある。敦賀だけでも映画にできる」と確信。「磨きかけた脚本」で古里の魅力を最大限に伝える。

ロケ地の中心となったのは三月に休校した海辺の西

映画監督 山下さん

浦小学校(色浜)。教室での撮影シーンもあり、「映画と重なる舞台に巡り合えたのは奇跡」と喜ぶ。近くの景勝地・水島を撮影。恋の宮とされる金崎宮、山間の愛発公民館も取り上げた。

前作での後悔は「ラスト

27日に完成上映会

カットの空が曇りだったこと。今回は撮影日を後日追加し、雲一つない青空をフィルムに収め、「リアルな雰囲気を感じてもらえたら」と来場を呼び掛ける。

前売り千円、当日千五百円、小中高生五百円。チケットは敦賀市白銀町の田代時計修理工房で販売している。二十七日の上映は午後二時半、五時、七時半の三回を予定。午後一時から前作「SNOWGIRL」も上映する。四日から六日まで東京都渋谷区の渋谷ユーロライブでも上映する。☎母・里美さん＝090(7740)9475

「地元盛り上げる」

上映会への来場を呼びかける山下大裕さん＝敦賀市内で